

## 意見陳述人提出資料

- ・卸売市場流通について（出荷団体）

関根 芳朗（全国農業協同組合連合会茨城県本部園芸部長）

## 卸売市場流通について（出荷団体）

関根 芳朗

### ○ 卸売市場を利用する場合のメリット・デメリット

#### [メリット]

1. 青果物出荷等階級に関係なく全量取り扱いがなされていること。
2. 代払い制度による青果物精算システムが確立されていること。
3. 他産地・消費流通情報入手が容易なこと。
4. 青果物等の物流拠点として機能が生きていること。
5. 産地育成のための出荷奨励金があること。
6. 販売価格の目安である価格形成機能があること。
7. 重要野菜など（大根、きゃべつ、はくさい、たまねぎなど）消費生活に必要な野菜等の出荷が万遍なくできていること。
8. 量販店等の調整機能。
9. 数的データベース化がしやすい。

#### [デメリット]

1. 競売などから起こる価格の不安定。
2. 出荷規格の細分化。
3. 販売先など流通上での不透明性とそれに関わる情報不足。
4. 「デメリット」と言い切れないが、相対取引拡大に伴い量販店などの価格影響力が強くなってきている。

### ○ 卸売市場への出荷において抱えている課題

1. 業績が悪化している卸等が増えている。
2. 業務の合理化など卸・仲卸会社の経営的志向が強まる。
3. 産地から見て販売価格が不安定。

### ○ 上記課題に対する工夫と今後の方向

1. について  
保険への加入，債権管理の徹底。
2. について  
量販店など実需者からの情報入手，市場外販売先との情報ミックス。
3. について  
市場外流通での契約販売への切り替え（契約価格及び契約数量販売），直売所の活用，地

産地消活動，市場販売において原体販売から小売りパックなど荷姿変換しての販売。

○卸売市場流通の効率化を推進する為の提案

- ① 物流の効率化について
- ② 取引方法の効率化について
- ③ その他

○その他特記すべき事項

卸売市場へ青果物等を供給しているJAグループ各産地は、生産者による生産組織を構成し、組織、生産、流通などに関する規則をそれぞれ作り、市場販売等での共同計算を行っている。生産者の中心は、年齢で50才台、作付面積では営農類型によって異なるが1haか2ha程度、消費地への個人での出荷はむずかしい。従って、JAでは、共同組織での生産維持，振興を勧めているし、当面この状況が続くものと考えている。